

福井大学生のための

創造力、実践力。  
国立大学法人  
福井大学

# ふくだいプレス



## 特集 見せます! 私の卒業論文

It's My Circle 弓道部 / 文芸・漫画研究会

学生広報スタッフ企画 We♥福大

祝★20号 成人の主張 ~これから目指す私~

VOL.20  
2015 JANUARY

Contents



2 福大生がお題に答える  
**福大生ナウ**

4 特集 **見せます! 私の卒業論文**

座談会 **原子力防災、危機管理の拠点で学ぶ**

学長メッセージ **科学的な思考力と研究**

9 世界にイノベーションを  
**研究者紹介**

12 がんばる学生紹介  
**FACE**

14 部・サークル紹介  
**It's My Circle**

16 就活応援情報満載  
**福大生の就活ノート**

18 卒業生から在学生の皆さんへ受け継がれる  
**学びのバトン**

19 大学生活のハテナを解消  
**疑問に答えて!**

海外留学の体験レポート  
**福大生のAIR MAIL**

20 学生広報スタッフがお届けする  
**We♥福大**

22 大学の最新情報をお届け  
**福大Topics**

23 **福井大学基金 寄附者ご芳名**

24 **学務部からのお知らせ**

表紙について



(表紙左から)

教) 学校教育課程4年

盆出紗季さん、坂下彩音さん、川口皇恵さん、  
 北方恭史さん、上坂真優さん、山内貴大さん

今回は、教育地域科学部学校教育課程音楽教育サブコースの4年生6名が登場。ピアノを囲むと、即興で「Oh Happy Day」や「Choo Choo Train」を美しいハーモニーで歌い出し、和気あいあいとした撮影となりました。

3月6日にハーモニーホールふくいで開催する卒業演奏会に向けて、現在はピアノの練習やポスター作成などに奔走中。4年間の集大成をぜひ会場でお聴きください。

お題に対し、福大生に答えてもらうコーナー!

# 福大生ナウ

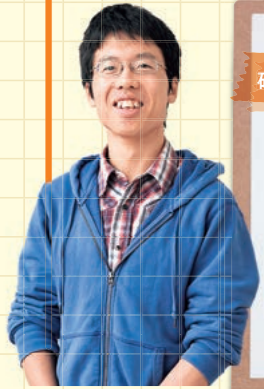
今号のテーマ  
**今年の目標**

新年あけましておめでとうございます。  
 年の初めに掲げた目標に向かって、  
 充実した一年を過ごしてくださいね。



※CBT: 全国の医学科4年生が受ける試験

● がん患者さんの療養をよりよく



研究テーマ  
**男性がん患者の告知から寛解に至るまでの役割の変化**  
医)看護学科4年  
水上 慎也さん

がんは治療が長期にわたり、患者さんのみならずその家族の負担も大きい病気です。研究では、がん発見から、治療のりこえ症状が落ち着くまでの患者さんの「役割」の変化を聞き取り、それを分析し、看護者はどう支援していくかを考えています。今後の看護に活かしたいです。



先輩へのアドバイス

もともとがん看護に関心がありました。興味のある分野を見つけられればより前向きに研究に取り組みます!

# 見せませす! 私の卒業論文

大学での学びの集大成として書き上げる卒業論文に取り組む6名の学生が、完成を目の前に、内容をちょこっと紹介! 皆さんは、どの研究が気になりますか?

● 辛い経験をした子どもたちを支えるために



研究テーマ  
**ネガティブな経験の意味づけ方とレジリエンスの関連性**  
教)学校教育課程4年  
渡邊 真梨子さん

レジリエンスとは、困難な状況に適応する精神的な回復力のことで、辛い経験で苦しむだけではなく、それを糧に成長する人に着目し、それが先天的な資質によるものか、後天的な考え方などによるものかを研究しています。約200名の大学生に、辛い経験の有無や経過年数、認識などをアンケート調査して分析。辛い経験をした子どもたちをフォローするアプローチの考案に繋がりたいと考えています。



先輩へのアドバイス

勉強をはじめ部活やアルバイトなど、躊躇せずに様々な経験を積んでほしいですね。幅広い経験の中から興味や関心が見つかり、将来につながると思いますよ!

● 活気あるまちを作り出す



研究テーマ  
**福井とドイツのまちづくりを比較する**  
教)地域科学課程4年  
神谷 直幹さん

福井駅前の活性化を目指す学生団体「福井大学EMP実行委員会」で活動し、出身地の愛知県とは違い、若者の利用が少ない駅前の現状に問題意識を持ちました。ドイツの都市再生の事例を授業で学び、応用できるのではないかと研究テーマを設定。「利用者の年齢構成に偏りがある」「公共交通の利用者が少ない」など、問題点を洗い出し、ドイツの事例と比較しています。



今後の目標

福井駅前の活性化に繋がるような提案が目標。卒業後は故郷の市役所で働く予定なので、研究を生かして活気あるまちを作っていきます!

● 医師の診断をサポートするシステムの開発を目指して



研究テーマ  
**膝疾患の診断検査における定量的測定装置の開発**  
工)博士後期課程  
総合創成工学専攻2年  
川口 昌悟さん

膝関節にある前十字靭帯の損傷は、すねの骨を前方に引き出した時に、医師の指にかかる力をみる検査法で診断します。この検査は、医師の感覚に頼りがちで、経験値に関わらず正確に判断するためのシステムを構築することが目標です。まず、指に装着する圧力センサを開発。現在は、正常な膝と損傷を受けた膝で検査を行い、指にかかる力のデータを収集・解析しています。



今後の目標

前十字靭帯はスポーツ選手が損傷しやすい部位で、早期発見が重要。学部から取り組んでいる研究のため、修了までには集大成としてシステムの構築を目指します!

● 「美味しい」を物理学の視点から解き明かす



研究テーマ  
**パンの味覚と電気化学の関係**  
工)物理工学科4年  
田子 勇貴さん

「美味しいパンってどういうもの?」これを物理学的に説明することが目標です。今年の夏、研究室の隣に完成したキッチンで、レシピ通りの美味しいパンと、材料や成分の分量を変えたまずいパンを何種類も焼き、電気伝導率や密度を計測しています。その後、塩や小麦粉、水、油の混ざり方(界面の構造)を顕微鏡で観察。美味しいパンの不思議を探究中です。



先輩へのアドバイス

食品物理学は、福井大学ではまだ新しい分野。生活に密接に関わる「食」に興味がある人や新しいことにチャレンジしたい人は、ぜひ研究室に来てください!

先生にも聞いてみました!

## 私の卒業論文



**化学反応を設計する**  
教)理数教育講座  
浅原 雅浩先生

有機分子の中には、右手と左手のように鏡に映すと重なる形をした対の分子があります。卒業研究は、それらの分子を作り分ける方法の開発でした。分子模型を眺めながら、原料となる有機分子を何度も設計直して実験。徹夜で頑張ったのにそのフラスコを割ってしまい、頭を抱えたことも…。今ではいい思い出です。



**大腸がんの全容解明に向けて**  
医)薬理学領域  
青木 耕史先生

学部2年生の時に訪問した研究室の中で、最も興味を持った大腸がんの発生や再発、転移に関連している「CDX<sub>2</sub>」というタンパク質について研究しました。以降、現在まで一貫してこのテーマに取り組んでいます。少しずつ解き明かしていく過程に研究の醍醐味があります。みなさんもそんな研究テーマに出会えるといいですね。



**協同居住型の住まい方を考える**  
工)建築建設工学専攻  
原田 陽子先生

住宅や住環境デザインに興味を持っていた大学時代、阪神・淡路大震災を経験。その復興住宅として取り入れられた、日本初のコレクティブハウジング(協同居住型集合住宅)計画のワークショップに参加したこと等をきっかけに、日本での協同居住の可能性について研究、設計を行いました。

● 在宅医療の患者さんを災害から守る



研究テーマ  
**災害急性期から復興期における在宅要介護高齢者生活支援の継続と支援者連携の必要性**  
医)修士課程看護学専攻  
(災害看護専門看護課程)2年  
長谷川 美智子さん

東日本大震災で看護師として被災地支援へ行ったとき、在宅医療の患者さんの実態が全くつかめなかったことから大学院に進学しました。平常時にどのような連携や情報を蓄積しておくことが災害時の迅速な対応につながるかを研究しています。仕事をしながらですが、患者さんの笑顔を支えにがんばっています。



先輩へのアドバイス

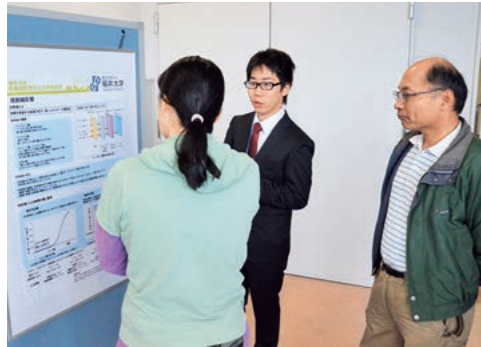
患者さんから常に学ぶべきものを教えてもらっています。勉強はいつからでも始めることができると思うので、思い立ったら行動を!

皆様の心は 行は 動い

尊敬する師からの言葉



様々な研究室の学生が集う院生室



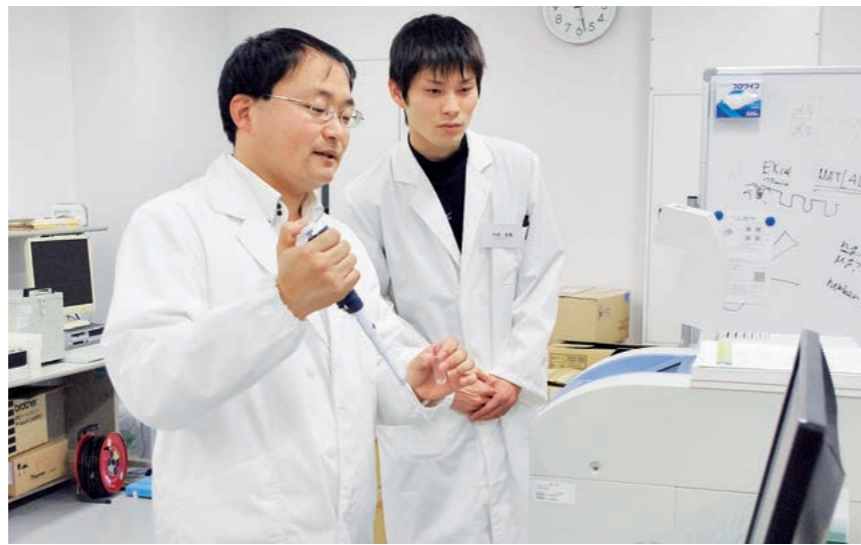
地域の人に研究内容をポスター発表



原子力防災と研究成果について市民に紹介する部屋：常設展示室



附属国際原子力工学研究所の外観



実験に取り組む様子



座談会

# 原子力防災、 危機管理の拠点で学ぶ

## 附属国際原子力工学研究所

「安全と共生」を基本に、世界トップレベルで特色ある原子力人材育成及び研究開発を行う「附属国際原子力工学研究所」。原子力の将来を見据えて新設した「原子力防災・危機管理部門」と、「原子炉構造システム・廃止措置部門」の先生、学生にお話を聞きました。

### 原子力を 総合的に捉える

**安田** 福島第一原子力発電所（以下、福島第二）の事故を踏まえ、平成24年度に原子力防災・危機管理部門が立ち上がりました。原子力の防災や危機管理に関する研究の他、地元の敦賀市と連携し、地域住民に向けた防災教育や啓発なども行っています。今年度からは、原子炉構造システム・廃止措置部門もできて、柳原先生を中心に研究が進んでいます。

**柳原** これまで、原子力分野の研究は、炉の設計や放射線利用などが中心でした。しかし、あのような過酷な事故を受け、防災や廃止措置に対する認識も一層深まったように思います。汚染さ

れた福島第一と、その他の原子力発電所では、廃止措置の方法は全く違いますから、私は、両方を視野に入れながら、合理的に問題なく進めていくための研究を行っています。

**安田** 2つの部門がスタートし、設計から廃止措置まで、原子炉の一生を総合的に捉えることができる機関となりましたね。

**松橋** 私は福島第一の事故があっただけで原子力に興味を持ち、進学を決めました。テレビで廃炉問題をよく目にし、実際に調べてみると廃炉について研究している技術者が世界的に非常に少ないことがわかり、それなら自分がやってやるという気持ちで来ました。今は、廃炉などプロジェクト全体の計画から進捗管理ま

で行うプロジェクトマネジメントについて研究しています。

### 地域から海外まで 幅広い人々と触れ合う

**戸田** 私は福井高専で学んでいるときに、原子力のエネルギーの大きさに興味を持ちました。受験勉強をしている最中に福島の事故が起きて、放射線の怖さに改めて気づき、原子力について幅広く学べる本学に進学しました。今は、放射線が生体を与える影響を中心に研究しています。

**松橋** 机上のイメージだけで勉強するのは難しいですが、敦賀には原子炉がたくさんあり、実際に現物を見ることがができます。また、地域の人たちが原子力分野に非常に関心を持っていて、そういう面でも勉強になりますね。「放射線については分かっているから避難情報を教えて」など、地域の方たちが求めている情報と、自分たちが考えていたことにもギャップがあるんだなと。

**戸田** シンポジウムやオープンキャンパスでは、地域の方々に素朴な疑問をたくさん投げかけていただくことで、まだまだ自分たちが学ばなければならないことが

廃炉の問題はまだまだ続く、学びを次の世代へつなげていきたい

日本の原子力技術を高めて世界に発信していきたい

原子力のリーダー、日本のリーダーになって欲しいですね

2年間でみんなびっくりするくらい成長しますね

大学院工学研究科博士前期課程 原子力・エネルギー安全工学専攻2年 松橋 和也さん

大学院工学研究科博士前期課程 原子力・エネルギー安全工学専攻2年 戸田 圭哉さん

原子炉構造システム・廃止措置部門 柳原 敏先生

原子力防災・危機管理部門 部門長 安田 仲宏先生

たくさんあることに気づかされません。

**安田** 日本の原子力事情を知るために、フランスやチェコ、ベトナム、インドネシアやタイといったアジアの国々から、毎年多くの留学生や研究者が学びに来ます。戸田さんや松橋さんのような学生がメンターとなって、彼らに欲しい情報を英語で提供したり、議論したりします。そのような取り組みの中で、語学力だけでなく、物怖じしないマインドなど、世界で活躍できる素養が養われると考えています。

**柳原** 原子力に限りませんが、今の世の中は、国内だけを見ていてはダメで、グローバルな視野が必要です。いろいろな国の人とコミュニケーションをとる中で、自分の考えを伝えたり、相手の言いたいことを理解したりする力を養い、世界に飛び立つてもらえればと思いますね。この研究所はそういうことができる環境だと思います。

**安田** 学生たちは、2年間で驚くほど成長しています。大学で学んだことを社会で活かし、またいつか教員として次世代へ思いや知識を伝えてくれることを期待しています。

## 膨大な史料から 真実を見出す

### 決定打は小さな新聞記事

皆さんは、ヨーロッパにおける封建制から自由な民主制への移行は、フランス革命をはじめとした革命運動によって実現した、と習いませんか？ 実はそれは、事実ではないかもしれません。

私は、大学院生の頃から、東・中央ヨーロッパの歴史(東中欧史)について、国民形成の過程を中心に研究を進めてきました。特に関心を持ったのは、多民族が共生し、オーストリア・ハンガリー帝国、チェコスロバキアと歴史的な変遷を遂げたスロバキアです。

国内での研究を経て、1997年から1999年までスロバキア科学アカデミーの歴史学研究所に客員研究生として留学しました。現地の文書館で、大量の冊子や新聞、雑誌などの史料を収



教育地域科学部 社会系教育講座

中澤 達哉 先生  
Tatsuya Nakazawa

集し、研究所で読解、解釈に妥当性があるかを恩師に評価を仰ぎ、批判してもらいながら、理解を深めていきました。

研究を進めていく中で、近代ヨーロッパにおける民主制の確立過程について、従来の定説に疑問を抱くようになり、決定打になったのは、オーストリア・ハンガリー帝国時代の新聞に小さく掲載されていたJudo vit Str (リウドヴィット・シトゥール)議員による



客員教授としてスロバキアの大学で授業した様子

この演説は、支配層が多数を占める議会が批判されましたが、長い年月をかけて民主的な国家が形成される起源となったようです。従来は、封建制という、民主制と対立する概念とされていましたが、少なくともスロバキアの国民形成においては大きな影響を及ぼしていることが解明できたのです。

### ハマっていること\*

スポーツ観戦です。ジャンルを問わず好きですが、特に今はサッカーにハマっています。実は、国際親善大会のために来日したスロバキア代表の通訳を務めたこともあったんです。



尊敬する香川選手のユニフォーム

### 外からの視点に期待がかかる

封建制下では、国王や貴族、農民など、人々は身分で区切られていました。中でも、「社団」と呼ばれる貴族など上位の身分層は、国王と主従関係で結ばれており、国王に忠誠を誓う代わりに、領地・領民の所有権、参政権などの特権が与えられていました。

社団に属する要件は「出自」で、血筋や家系が判断基準でした。シトゥール議員は、これを「同じ言語や文化で構成する種族上の出自に読み替えることを提言。これにより、社団の枠を農民などの下位の身分層にも広げ、実質的に民主制を導入しようとしたのです。

この演説は、支配層が多数を占める議会が批判されましたが、長い年月をかけて民主的な国家が形成される起源となったようです。従来は、封建制という、民主制と対立する概念とされていましたが、少なくともスロバキアの国民形成においては大きな影響を及ぼしていることが解明できたのです。

2007年に英語でこの成果を発表すると、現地スロバキアやイギリス、韓国などの諸外国で論文が評価されました。固定観念を持たず、外からの視点で研究を進めることがヨーロッパ人には斬新であり、新たな学説への期待

### 違った角度からものごとを見る

も生まれているのだと思います。学生の皆さんには、歴史はもろもろの角度から見る力を持って欲しいと考えています。新しい史料の発見によって、これまでの定説が覆ることがあります。批判的視点など、違った角度からものごとを見ることで発想を広げるとともに、新しい知識や情報を吸収する柔軟性を持って欲しいですね。

現在は、研究の舞台を現代に移し、東・中央ヨーロッパの大学生の民族意識やアイデンティティの作られ方について、アンケートや聴き取りなどの調査によって研究を進めています。皆さんも、東・中央ヨーロッパを鍵に、日本や世界の人や国を見つめませんか？

## 学長メッセージ



# 科学的な 思考力と研究

学長 眞弓 光文

ふくだいプレスの今回の特集テーマが「卒業論文」ということなので、「研究」について考えてみたいと思います。

大学での学びは、高校までの学び以上に、単に解(知識)を憶えるのではなく、科学的根拠に基づいて解にいたる過程を理解し、新たな解を導き出す力を養うことを重視しています。皆さんは、本学での学びを通して、科学的な思考力、研究力を身につけてください。

一方、人の判断基準はその人自身の経験に大きく影響されます。しかし、ひとりが経験できる事は象は自ずと限られるため、経験に基づく判断は、その経験が普遍的な真理につながるものでない限り、その妥当性は保証されず、また、異なる別の

卒業論文等を通して、  
科学的に思考する力をつけ、  
判断力を養ってください

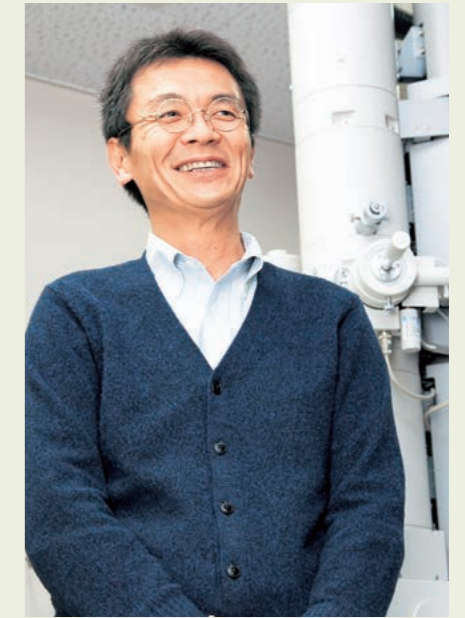
事例を判断する際にその基準を単純に当てはめてよいかどうかは疑問です。自分の判断基準は単に限られた経験だけに基づくものではないのか、経験した事例とは異なる別の事例にも適用できるのか、これらを見極める力が伴わなければ、たとえ経験が豊富だとしても、その人の判断力は優れているとはいえません。

皆さん。卒業論文等を通して、科学的に思考する力をつけ、判断力を養ってください。同時に、第一線の研究現場を見ることで、正しいとされる知識の多くが実は脆弱な根拠の上に成り立っていることを知り、それは皆さんが「真理とは何か」を考えるきっかけになるでしょう。これらの学びを通して、皆さんは私たちがこれまでに経験したことのない少子高齢化社会、人口減少社会で活躍できる課題探求力・解決力や判断力を身につけるでしょう。



研究に取り組む学生の様子

# 「心」を可視化する



医学部 組織細胞形態学・神経科学領域

深澤 有吾 先生  
Yugo Fukazawa

## 「心」を生み出す「脳」

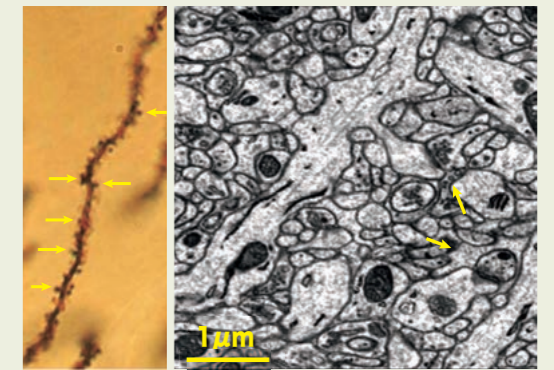
私たちの「心」はどのように生まれるのでしょうか？洋の東西を問わず、心は人類共通の興味として探求されてきました。技術や科学が進んだ今でも実は謎に包まれています。喜怒哀楽や思考のように我々が意識できる「心」とそれに伴う「行動」が、脳の損傷や脳に作用する薬物に影響されることから、少なくとも「脳」が心の形成に深く関わっていることは間違いありません。そこで私たちは、脳の変化を可視化することで「心のしくみ」に迫りたいと考えています。

## 「脳の構造変化」を明らかに

脳には神経細胞とグリア細胞と呼ばれる脳固有の細胞が存在します。神経

細胞はシナプスと呼ばれるネットワークを形成し、情報伝達を行います。グリア細胞は神経細胞を包み込むように分布して、栄養を供給したり、情報伝達を調節します。私たちは様々な観察技術を駆使して、これら細胞の構造や分子の分布を定量的に可視化し、脳内の変化をキャッチしようとしてきました。

運動学習を課したマウスの研究では、15分間のトレーニングを1時間間隔で4回行うと、小脳の特定の場所にあるシナプスの数が半減し、さらにこの減少に先立って、情報伝達に関わる分子の分布が迅速に変化する様子を捉えました。この結果は、脳内の神経ネットワークのつなぎ換えがこれまで予想されていた以上にダイナミックに起きていることを示唆しています。この実験ではシナプスの減少率と長期運動記憶の成



ゴルジ染色した神経細胞の樹状突起シナプス(→)を介して接着し、情報の伝達をしている。その周りをグリア細胞の突起が囲んでいる。光学顕微鏡像

立量(強さ)の有意な相関も見られたので、構造変化と学習記憶現象の間に密接な関連があることも分かりました。

様々な心的状況下の動物を訓練し、脳内の構造変化の様子を調べることで「心の痕跡」を捉えることが可能になると考えています。そこで現在、動物に様々な心的変化を引き起こす操作を与えてから、脳内の構造変化をくまなく可視化する方法の開発に取り組んでいます。この様な研究を通して、「心」の可視化する手がかりを見つけ、「心のしくみ」を理解する道筋を創りたいと考えています。

## 「どうしたらできるか」を考える心を養う

現在に至る文化や技術の発展は、新しい発見や工夫の積み重ねと世代を超えた継承によるものです。これは人間の

# 「生物ってすごい!」をものづくりに



テニューア・トラック推進本部  
鈴木 悠 先生  
Yu Suzuki

## カイコからできる絹

ネクタイやスカート、着物などの絹製品は保湿性に優れ、しなやかな手触りの繊細な織物で、多くの人に愛されています。絹はカイコが細く、純天然素材。そんなカイコが繭をつくるまでの不思議なメカニズムに「生物ってすごい!」と興味を惹かれました。

## わずか50日のカイコの一生

カイコは、卵↓幼虫↓さなぎ↓成虫と約50日の一生で4回の変化をします。ゴマ粒ほどの卵から孵化し、4回脱皮を繰り返して繭を作り、繭玉の中でさなぎに変わり、羽化して成虫になります。幼虫のカイコをずっと観察していると、繭を作り出すタイミングがわかります。カイコの幼虫は繭をつくるための



カイコの時に繭を生産する

## 絹のタンパク質構造

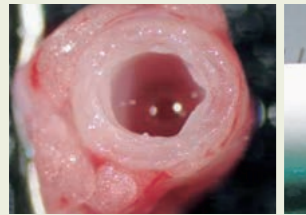
絹は「フィブロイン」と「セリシン」と言うタンパク質からなります。繊維になる前の「液状絹」と呼ばれるゲル状の水溶液を取り出して、NMR(核磁気共鳴装置)で構造を解析しています。NMRでみると、絹のタンパク質の立体構造

は水素結合で保持されていることがわかりました。この水素結合が組み変わると、引き伸ばされるように、強度のあるタンパク質へと変化していきます。液状絹がカイコの口から吐き出される直前に、繊維化へと構造の転移が起こり、口の適度な圧力と首振り運動による張力で糸として生産されます。また、カイコの体内の後方と前方にある液状絹を調べてみると、pH濃度は中性から弱酸性に変化し、カルシウムイオン濃度が上昇していることが分かっています。この変化が、繊維化の準備に関係しているとの仮説を立て、今後の実験で明らかにしたいと考えています。

## 天然由来は人体にやさしい

カイコが絹を生産するメカニズムが明らかにできれば、上質な絹が人工的に生産できますが、謎が多く、道半ばといったところ。現在はカイコのフィブロインを溶媒で溶かし、再び繊維化させた不織布を作製し、人工血管を作る実験も進めています。

ラットにこの人工血管を移植したところ



人工血管(移植前) 人工血管(移植後)

「脳」に固有の機能です。人の脳は、生物が進化の過程で獲得した「不可能を可能にする装置」なのです。この人間の脳の原動力は「心」です。特に、知らないことや出来ないことに気付き、克服したいと思う「前向きな心」です。この前向きな心の方向性と強さは人それぞれです。一人ひとりの前向きな心を育てるには小さな成功体験を少しずつ積み重ねることしかありません。今取り組んでいることに自分なりの創意工夫を凝らし、小さな成果を積み重ねたり軌道修正したりするうちに、自然に個性や可能性が広がっていくと思います。

## ハマっていること\*

単身赴任なので自炊を始めました。料理はまさに実験そのもの。なかなか満足できないところまで似ています。現在研究室の立ち上げ途中で実験環境が整っていない私には良い気分転換になっています。



料理と一緒に食べながらディスカッションしてくれる人を募集中!

ろ、絹は自家組織の生着が良く、血小板が付きにくいなどの結果が得られました。絹は、人工血管やその他の医療材料として有力な候補として注目されており、こうした機能性を生かした「ものづくり」も進めていきたいと考えています。

## リケジョのみなさんへ

4月に福井大学に来て、工学部では女子学生の大学院進学率が男子学生に比べ少ないと聞き、残念に思っています。工学部を選ばれたということは、科学やものづくりに興味があるということだと思います。ぜひ、大学院にも進学して興味を広げ、具現化し、将来はさまざまな研究分野で活躍してほしいと思います。

## ハマっていること\*

足羽川沿いの遊歩道を犬と散歩することです。福井に来るあたり、共同研究者の獣医さんからビーグル犬を譲ってもらいました。建物がなく川と山と空だけの景色を見るたび、良い所だな〜と心が満たされます。



# ジャパンスチールブリッジ コンペティション2014 総合3位!

福井大学工学部「Teams」

8月30日、31日に大阪市立大学で開催されたジャパンスチールブリッジコンペティション(JSB)2014に工学部の授業「学際実験・実習」のスチールブリッジグループの集大成として初めて出場し、総合3位(全19校、20チーム中)の好成績を収めました。このコンペティションは学生グループが大会規定に沿って鋼橋の設計、製作から架設まで行うもので「架設競技」、「美観競技」、「載荷競技」、「プレゼンテーション」の4部門それぞれと総合結果により評価されます。

「架設競技」は40分以内で全長4mの橋梁を組み立てるルールのもと、30分を超える大学もある中、17分18秒とまずまずの成績を収めました。「美観競技」では、サグラー・ファミリアを設計したガウディの手法



直線でありながら、しなやかな「ねじれ」を表現



総合3位となったメンバー

を取り入れ、複数の直線部材で曲面を表現した「ねじれ橋」を完成させました。また、色彩にもこだわり、日本海の青と、米どころ福井を象徴する稲穂の黄色、白山の白を基調にし、部門3位。続く、「載荷競技」は150kgの錘を載せた台車が橋を渡った時に生じる橋のたわみ量で、5ミリ以内が求められることに対し、本学の記録は3.8ミリで、また橋全体の重さが26kgと軽量であったことから部門2位。これらの総合ポイントにより3位が決定しました。メンバーは「ひとりでは作れないものを作ることで、良い経験になりました。今回のノウハウを生かして3月、タイで行われるアジア大会でも頑張りたい」と話しています。

## 福井保護観察所長感謝状を受賞

ボランティアサークル「BBS」

非行や経済的理由などにより養護施設や自立支援施設で暮らす方々と、家族のように触れ合いながら、明るい地域社会の実現を目指す、ボランティアサークル「BBS」のメンバー5名(教育地域科学部学校教育課程4年 小村友輔さん、串尚哉さん、田中康平さん、坪田恭一さん、松井望さん)が、福井保護観察所長感謝状を受賞しました。11月12日に、福井県生活学習館で開催された県更生保護功労者顕彰式で、大利文雄所長から賞状と記念品が授与されました。

5名は2年生の時にBBSに入会。4年生1名だけで活動している廃止寸前の



賞状と記念品を持って(左上から時計回りに 串さん、坪田さん、松井さん、小村さん、田中さん)



子どもたちやボランティア団体の皆さんとエコキャンドルを作成しました

サークルでしたが、顧問である大学院教育学研究科教職開発講座の森透教授から紹介を受けた小村さんが4名に声をかけ、少しずつ活動を再開。施設で行われるイベントへの参加や学習支援をはじめ、同じ活動を行う中部圏の大学生を集めた交流セミナーを開催するなど、活動の枠を広げ、現在では約40名が所属する大きなサークルに立て直しました。小村さんは「施設での活動はもちろん、それを再興したことも評価されたのだと思います」と話し、「表彰が後輩の励みになり、さらに更生保護の活動が盛り上がってくれると嬉しいです」と今後に期待を込めています。

## がんばる学生を紹介

掲載されている方の所属、学年等は取材時のものです。

### 感染症について 現地で学ぶ

医学部医学科3年 新田彩巴さん

新田彩巴さんは、初めて海外へ行くにあたり、学内外にある多くの海外研修プログラムの中から、今年度で4回目となる医学部ゲノム科学・微生物学領域の定清直教授がコーディネーターするインドネシア・アイルランガ大学での感染症学研修を選択しました。

8月31日から9月18日まで、インドネシアを訪れ、ストモ病院熱帯病科で1週間、病院実習をした後、神戸大学・インドネシア共同研究拠点として鳥インフルエンザ及びウイルス肝炎、デング熱や腸管感染症の研究が行われているアイルランガ大学熱帯病研究所(ITD)で2週間、熱帯病、感染症の症状や診断・治療と研究方法について学びました。日本でも感染者が出たデング熱チームでは、最先端の研究を目の当たりにしました。



ITDのHIV・デング熱チームで実験に取り組む新田さん

を乗り越え、インドネシア料理も堪能し、充実した研修生活を送りました。新田さんは「病院では同世代のヤングドクターたちの姿に大いに刺激を受けました。また研究所では、最先端の感染症について生き生きと研究に取り組む研究者やスタッフのみなさんの意欲を感じる事ができました。進路選択はまだこれからですが、まずは一生懸命、医学の勉強に取り組みたいです」と、モチベーションを高めています。



同年代のヤングドクターたちと交流

### 詩人きむさんを招いた 講演会を開催

学生企画講演会実行委員会

11月28日、詩人のきむさんを招き、学生企画講演会「心に夢を」を開催し、学生や教職員ら約40名が参加しました。きむさんは、詩人としてだけでなく、出版社の設立や、雑貨ブランド・似顔絵事業の展開など、精力的に活動しています。平成15年からは、様々な人に夢を聞き、本やインターネットで発信する「日本ドリームプロジェクト」に取り組み、文京キャンパスに通う講演会実行委員の6名が、思いや考えを聞き取りと依頼しました。

講演会では、複数の作品をスライドで紹介し、「人生で見た光景と、その時に



講演会の様子

思ったことを組み合わせている」と語りました。さらに、「日本ドリームプロジェクト」に取り組む中で、目標と夢の違いが明確になったとも話し、「目標は高い山に掲げた旗でありゴール、夢は山の頂上から見える景色。厳しい目標を乗り越える原動力となる楽しい夢を描いてほしい」と呼びかけました。

講演を受け、実行委員の教育地域科学部地域科学課程3年 田海美咲さんは「すごくポジティブな方で、二つ三つの言葉に励まされました。これからも幅広い分野の方のお話を聞ける機会を作りたい」と、目を輝かせていました。



きむさん(右から4番目)を囲む文京キャンパスの講演会実行委員

現在の登録数

【文京】体育系49/文化系32  
【松岡】体育系23/文化系20

# \*It's My Circle\*

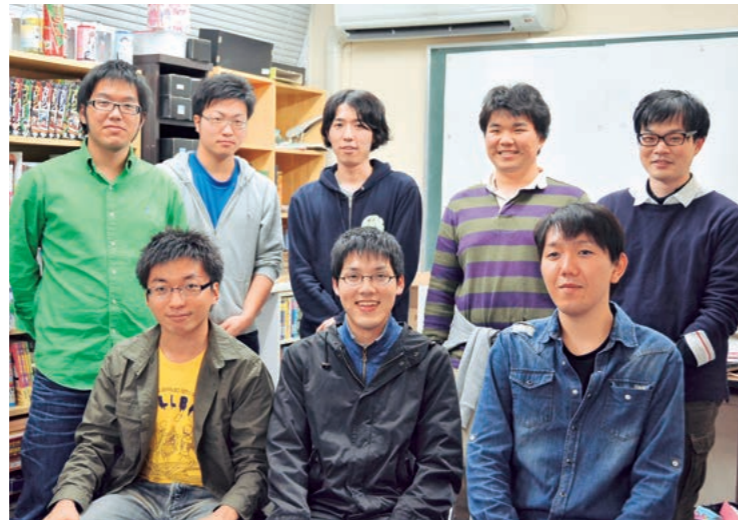
学内には体育系・文化系あわせて130近くの部・サークルがあり、福大生の半数以上が所属しています。

超有名な!? サークルから意外と知られていないサークルまで、さまざまな部・サークルをご紹介します!

●『It's My Circle』に登録したいサークルのみなさんは広報室までご連絡ください。E-mail:sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

「松岡キャンパスではめずらしくユルユルいサークルです」と文芸・漫画研究会について話してくれたのは、代表の医学部医学科2年 加藤大恵さん。松岡キャンパスの部活動はどれも活動熱心なところが多いですが、ここ文芸・漫画研究会はちょっと事情が異なるよう。ご多分に漏れず、兼部の多いサークルですが、毎日部室には誰かがやってきて、漫画を読んだり、たわいもない話をしたり、時には勉強したりしてまったりと過ごしているそうです。

部員には、松岡キャンパスの学生のほか、福井県立大学生もいて和気あいあいとした雰囲気。勉強していることは違えどそこは学生同士、好きな漫画や小説の話になると盛り上がり、すっかり溶け込んでいく様子です。活動の中心は、新入生が入ってくる4月と晩祭が開催される10月の年2回発行している会誌で、イラスト、漫画、小説から評論まで、さまざまな形で自分の作品を発表しています。昨年10月からは、それぞれが考えたストーリーを持ち寄って、アイデアを出し合う部会を開催。部室でのアニメ鑑賞会を復活させたり、活動も活発にしていきたいと意気込んでいますが、あくまで参加は自由。年に一度は旅行にも出かけるそうなので、漫画談議、小説談議に花を咲かせてみたい人は一度部室をのぞいてみては?



ゆったり、まったり

漫画好き イラスト好き 小説好き 集まれ!

## 文芸・漫画研究会

【練習日】 木 18:00 ~

【練習場所】 福利棟 2 階部室

【部員数】 20名

ツイッター

@fkmbungeimanga



部室には、たくさんの漫画が。貸出し可の医学書も!



会誌「玉匣」は春と秋に発行

部員募集中!

基本的に誰でも歓迎。漫画、イラストを描くのが好きな人は特に募集中! 勉強の合間にホッと一息つきたい人は部室へ!

## 弓を構えて狙うは北信越大会優勝!

弓道部は、毎年10月に開催される北信越学生弓道選手権大会での優勝を目標に、日々練習に励んでいます。  
3〜4人で1組となり、弓を放つ射位につきまです。呼吸を整えながらゆっくりと両足を開き、的に狙いを定めて大きく引いた弓を放つと、静寂に包まれた弓道場に、スパンと的を射る矢の音が響きます。28m先にある的を射る技術力はもちろん、どんな状況でも心を落ち着け集中する精神力が大切。そのため、弓道場にまつられた神棚に向かって部員一同が拝礼してから練習をスタートするなど、緊張感のある雰囲気を作り出

し、矢を射る練習を行います。代表の工学部材料開発工学科3年 藤嶋佑輔さんは「1年生の頃にはフレッシャーに負けてすべての矢を外したこともありましたが、厳格な状況で練習を積みこつて、気持ちコントロールして落ち着いて試合に臨めるまでに成長できました」と振り返り、「練習が終わると雰囲気は一転。ワイワイと賑やかで、メリハリをしっかりとつけている点も魅力です」と話しています。  
昨年の北信越大会では男子団体が3位、女子団体が8位の結果でしたが、今年は練習の成果を生かし、優勝に輝いてほしいですね。



初心者大歓迎!

## 弓道部

【練習日】 月・水・金 18:00 ~

【練習場所】 弓道場 (文京キャンパス)

【部員数】 18名

ホームページ URL

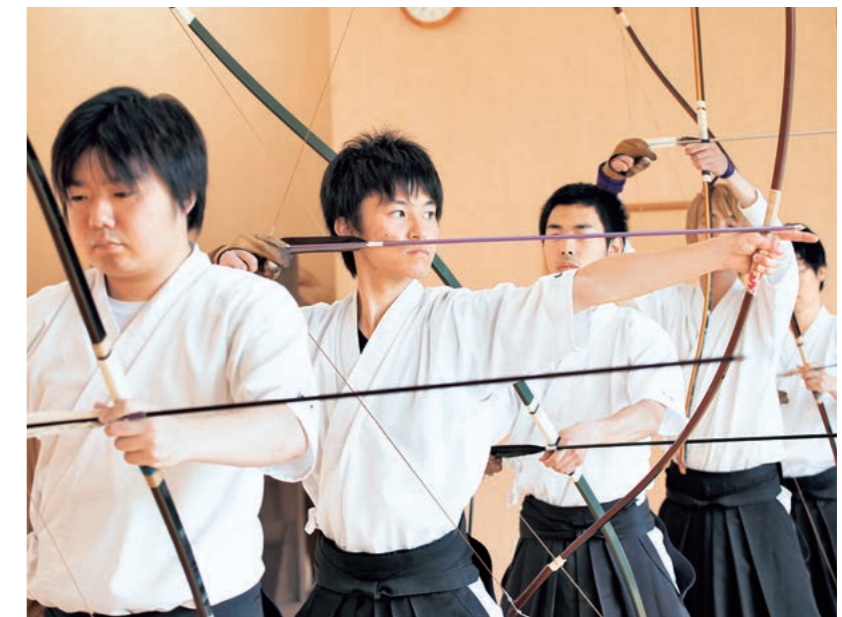
<http://u-fukui-kyudo.jugem.jp/>

部員募集中!

「弓道をやったことがなくて不安」という初心者の方でも大丈夫。実際に大学から始めたという先輩もたくさんいるので安心してください。もちろん経験者の方も大歓迎! まずは弓道場に足を運んでみてください。



練習後にご飯を食べに行くことも



矢をつがえ、的を凝視。練習であっても精神集中



No. \_\_\_\_\_  
Date \_\_\_\_\_

学生が企業・官庁の人事担当者へ、会社の魅力や特長、求める人物像などをインタビュー。あなたの学生生活を有意義に過ごすためのポイントが隠れているかもしれません。今回は株式会社オーディオテクニカフクイ管理部総務課の東大輔マネージャーに学生2名が取材しました。

採用担当者を直撃!

就活あれこれ  
Q&A

合同説明会ではなかなか聞けないようなことを採用担当者にズバリ質問! 採用担当者のホンネを教えてください。

工)機械工学専攻1年  
川井徹平(左)  
工)情報・メディア工学科1年  
海野遥香(右)



Q どんな雰囲気ですか?

A 自由に意見が言える雰囲気です。感性を大切にしており、服装や髪形も自由です。育児休暇や時短制度も充実しています。働きやすい職場だと思います。クラブ活動も盛んですよ。

Q 新人研修について教えてください

A 1年を通して様々な経験してもらいます。前半は購買部や生産管理課でのつくりの基礎を勉強します。後半は機械系、電気系、ソフト系など様々な課をまわり、正式配属となります。

Q 大学生生活を過ごす上でのアドバイスは?

A 就職すると時間がなくなりますから、留学や旅行などしているのを見ているのは大切だと思います。アルバイトも良い経験になると思います。学生生活を楽しんでください!

Q 理系の人が多いですか?

A 7~8割が理系だと思います。購買担当なども部品の知識が必要なので理系が多いです。世界中を市場にしており、工場も海外にあるため、語学ができる人材も必要です。

Q 採用試験について教えてください

A 当社を受ける場合は、必ず会社説明会に出てください。私たちが話をし、会社の中を見ていただいているから応募して欲しいと考えているからです。試験は1次選考(書類選考)、2次選考(作文、面接)、3次選考(役員面接、適性検査)です。

就職支援室から

スタッフ  
リレーコラム  
第11回

3月からのいよいよ平成28年春卒業・修了予定者の就職活動が正式にスタートします。今年採用スケジュールが変更になったため、企業の採用広報活動が3月1日に解禁され、合同企業説明会が3月に集中します。後倒しになった分、「短期決戦化」が予想されますので、事前の準備と最初の「スタートダッシュ」が重要です。3月まで色んな就職ガイダンスを用意していますので、必ずチェックしてください。

3月からのいよいよ平成28年春卒業・修了予定者の就職活動が正式にスタートします。今年採用スケジュールが変更になったため、企業の採用広報活動が3月1日に解禁され、合同企業説明会が3月に集中します。後倒しになった分、「短期決戦化」が予想されますので、事前の準備と最初の「スタートダッシュ」が重要です。3月まで色んな就職ガイダンスを用意していますので、必ずチェックしてください。



就職支援室 室長 大橋 祐之

「We are always on your side! 我々は全力で応援します!」

学内合同企業説明会  
スケジュール

- ☆県内外の優良企業が集結!
  - ・就職担当教授のおすすめ企業
  - ・福大生を採用したい企業
  - ・先輩が活躍している企業
- ☆360社の人事担当者と6日間で効率よく面談できる機会は他にはありません!
- ☆1年生・2年生も参加しよう!

3月13日(金)~18日(水)  
学内合同企業説明会  
(360社の企業・機関が参加)  
場所:総合研究棟113階会議室

- 13日(金)は業界を絞り、第1部(午前):金融・保険系企業+公務員系、第2部(午後):建築・土木系企業を招聘します。
- 前回好評のOB・OGとの交流の場も同時開催します。
- 「業界企業研究冊子」の企業PRの内容をさらに充実して発刊します。

株式会社オーディオテクニカフクイ

所在地: 越前市戸谷町87-1 ※越前市はグループの創業者である松下秀雄氏の出身地  
職員数: 170名  
事業内容: オーディオテクニカグループの製品開発および製造



ヘッドフォン、マイクのトップメーカー  
—どんな会社ですか?  
音響機器・映像機器のメーカーであるオーディオテクニカのグループ会社で、設計・開発・製造を行っています。当社では主に、ヘッドフォン、マイクロフォン(以下、マイク)を扱っています。オーディオテクニカは元々はレコード針を製造しており、最盛期の80年代前半には世界の90%の針を生産していました。その後、CDが登場し、アナログレコードが衰退するのに合わせて、新たな製品開発に移行を図りました。現在はヘッドフォンやカラオケ用のマイクで国内シェアナンバー1です。カラオケ店で皆さんが使うマイクのほとんどが当社の製品だと思いますよ。

感性を大切に。音に妥協しない  
—強みはどこなところですか?  
音に妥協しない姿勢を貫いているところだと思います。グループの経営理念は「Always listening」。様々な音を聞いて、感性豊かな製品を広く世界に提供し続け、信頼される企業を目指しています。音を大切にするのはもちろんですが、お客様をはじめ、様々な人の声を聞きなさい、という意味もあります。

おかげさまで当社の製品は世界中の様々な場所でも利用いただいています。グラミー賞やオリンピック、首相官邸での会議にも使われています。オリンピックでは、臨場感を伝えるために、例えばアイスリンクの下やビーチバレーの砂の下にマイクを入れることもあるんですよ。首相官邸や大学で使われるマイクは、赤外線を利用したコードレスで、盗聴や混信の恐れがない作りになっています。お客様の声に真摯に耳を傾けながら、用途に合わせた製品を設計しています。

社員から新しいアイデアを募集するコンテスト等のイベントも行っていて、入選すると賞金が貰えます。製品化すると、さらに報奨金が出ることもありますよ。

田園の中の研究所

ガラス張りの建物が印象的です。本社屋のコンセプトは「田園の中の研究所」。お客様にも好評で会社のイメージアップにつながっています。オフィスは壁がないオープンなつくりで、声をかけやすく、すぐにみんなが集まれるようになっていきます。残響音が非常に少ない無響室や、無線機器の実験に必要な電波暗室、音響ホール、カラオケルームなどの設備もあり、社外に出なくても性能を確認できるようになっています。

福井で働くことを視野に

福井大生へメッセージをお願いします。  
地元でがんばる企業にぜひ目を向けて欲しいと思います。福井には、世界に通用する企業がたくさんあります。暮らしやすく、仕事も余暇も楽しめる良い環境だと思います。就職活動を行う際には、ぜひ、福井の企業も検討して欲しいですね。



株式会社オーディオテクニカフクイ  
管理部総務課 マネージャー  
東 大輔さん

## 福井の地から グローバル・リーダーを 育てる

福井県立高志高等学校 教諭  
**山内 悟**さん

昭和61年度 教育学部中学校教員養成課程  
 (現 教育地域科学部学校教育課程言語教育コース)卒業



### スーパーグローバル高校を牽引

高志高校は、文部科学省の「スーパーグローバルハイスクール(SGH)」に福井県で唯一指定され、国際的に活躍するグローバル・リーダーの育成に取り組んでいます。

福井県内の企業が数多くアジアに出していることから、SGHのテーマを「ふくい発、東アジアの発展と希望に貢献するグローバル・リーダーの育成」としました。対象となる生徒の募集を行ったところ、定員以上の生徒が集まりました。どの生徒もグローバルなステージで学びたい、働きたいという前向きな思いを持っています。このような生徒たちを、大切に伸ばしてあげたいと思います。

SGH独自の授業の一つに「グローバル探究」(総合的な学習の時間)があります。これは、県内外の大学や企業と連携して課題研究に取り組む授業です。内容は理系・文系を問いません。生徒は、外部講師による授業を受け、東アジア地域と共に希望ある社会を構築するにはどうしたらよいかを考え、リサーチした内容をもとにプレゼンテーションします。このような学習を通して、グローバル・リーダーとしての資質や能力を身に付けていきます。

また、英語科の教員として、SGHの学校設定科目である「グローバル英語」を担当しています。この授業で

は、文法等の学習だけでなく、様々な場面における対話表現の練習や、種々のコミュニケーション活動をしています。授業は英語で行うことを基本とし、生徒にはペアでの対話や簡単な意見発表など、できるだけ英語を使う場面を与えるようにしています。はじめは緊張して、失敗を恐れていた生徒たちも、このようなスタイルの授業に慣れてきたようです。

### いつも母校つながり

福井大学では、故・茨山良夫先生から英語教育法を教えていただきました。先生のコミュニケーション指導法は日本の英語教育界をリードしてきた考え方で、今も自分の根底にあると思います。

高校の英語教員となつてからは、県内の英語教員で組織する「福井県英語研究会」の活動に参加しました。県内中・高生のためのリーディング教材を作成したり、授業改善のための研究を行った中、日々の授業を振り返り、教材とじっくり向き合うことの大切さを学びました。また、同研究会の先生方(多くが福井大学卒業)と互いの実践について情報交換したり、理想の英語教育について話したりできたことが、私には大きな財産となっています。

平成19年度、勝山高校が文科省のスーパーイングリッシュランゲージハイスクール(SELHI)に指定され、私はその研究主任を務めました。そこ



SGHの英語授業では海外の学習本を使用

で運営指導委員を引き受けてくださったのが、大下邦幸先生(元教育地域科学部教授、現敦賀市立看護大学教授)でした。意見・考えを重視したコミュニケーションタイプ・クラスの実践について、数多くのご指導をいただきました。以来、福井大学で行われている英語教育に関する勉強会にも通っています。

現在は、高志高校SGHのことで、教育地域科学部、大学院工学研究科、語学センター、そして国際交流センターの先生方に多大なご協力をいただいています。このように、今でも母校とつながりがあるのは、本当にうれしい限りです。

今の学生さんは、海外に出かけたり留学したりする機会に恵まれていると思います。大学キャンパスには、海外からの留学生がたくさんいます。このような状況は、私にはとてもうらやましく思います。目の前にあるチャンスをしっかり掴み、失敗も経験と考え、積極的にチャレンジしてほしいと思います。

## 疑問に答えて!

福大生の様々な疑問に役員がおこたえします!

第2回

**Q** 英語の授業のクラス分けに  
なぜTOEICを採用しているの?

**A** 密度の濃い  
きめ細やかな  
指導を行うため



こたえる人  
 教育・学生担当理事・副学長  
**寺岡 英男** 先生

共通教育の英語については、英語が国際共通語化している中で、コミュニケーション能力やリテラシー教育(アカデミック・リーディング、アカデミック・ライティング、プレゼンテーションなど)として充実を図るべきことが新たに言われるようになってきています。

福井大学では、英語力をしっかりと身に付けてもらうため、語学センターに来て頂いた英語教育専門の先生方を中心に共通の教育体制づくりを進め、昨年度から工学部で今年度からは教育地域科学部で、これまで週1回だった英語の授業数を週2回に増やしています。能力に開きがあるのも事実なので、密度の濃いきめ細やかな指導を行うために、習熟度別クラス編成を採用。そこで利用しているのが、英語力を測る統括テストと

して社会的に通用しているTOEICの標準検定試験です。TOEFLでも良いのですが、2006年にTOEICを団体受験したスコープデータがあり、旧カリキュラムと比較するために、TOEICを用いています。TOEICは、医学科でも今年度から、看護学科でも来年度から用いる予定です。自分のレベルを知りながら英語力を向上する学習を進めるために、学生の皆さんも意識して役立ててもらえればと思います。

### 質問 募集中!

大学や学生生活のこと、社会の疑問など、お気軽にお問い合わせください。質問は広報室まで。

### 海外留学の体験レポート

## 福大生の AIR MAIL



シンガポール  
 南洋理工大学 留学  
 (11月4日~1月22日)

大学院工学研究科  
 博士前期課程  
 電気・電子工学専攻 1年  
 小竹原俊太さん



海外の大学に一度通ってみたいという動機で、シンガポールにある南洋理工大学に留学しました。通い始めのころは、常に衝撃の連続で、学生の質の高さや、大学の最先端の設備などに驚かされる毎日でした。学内には講義室以外にも、至る所に勉強机やベンチなどがあるのですが、朝から夜まで常に勉強をする学生達で満席となっています。本当に勉強をしたいという意志を持った人たちが大学に来ているのだと感じさせられました。また、研究室のミーティングでは、時間のほとんどは学生同士との討論に費やされ、常に活発な意見が飛び交っています。

周りの人達はとても親切で、どんなに英語ができなくても自分が理解できるように話しかけてくれます。また、しどろもどろの英語でも最後まで聞いてくれるので、自分から積極的にコミュニケーションをとることが大事だと感じました。

たとえ短期間の留学でも、勉強や言語はもちろんですが、それ以外にも様々なことを吸収できると思うので、どこかに行ってみてほしいと思います。

# 成人の主張

## ～これから目指す私～

あけましておめでとうございます。さて、この1月号で「ふくだいプレス」は20号。そして、1月のビッグイベントといえば成人式。ということで、新年最初のテーマは「20歳の主張」。今回は20歳になる福大生の夢や抱負を大特集します。また、その道のスペシャリストからアドバイスを聞きました。



工)情報・メディア工学科  
三国出 彩乃さん

### 有言実行

今まで「あれをやる」「これをやる」と思いつきで口にするものの、結局やらすじまい...ということが多くありました。成人として、まずは自分の発言に責任を持って行動していくことで、より身のある活動をしたと思います。



就職支援室  
中野 真代さん

「有言実行」という抱負、とても良いですね！私が社会人になって特に感じることは、「責任」といつも切り離せない関係にあるのが「信頼」です。自分の発言に責任を持って行動できる人には、周りからの信頼も積み重なっていくものです。



工)電気・電子工学科  
小島 雅史さん

### 早く自立して 親に恩返ししたい

僕は現在、元気に大学に通って勉強や部活、友達との遊びを楽しんでいます。親のおかげで今の生活ができることを毎日感じているので、成人式を迎えたら、今の生活をすべて自力でやっていくことが最初の目標です。そして、親に少しでも多く恩返しをしたいと思っています。

恩返しの第一歩として、奨学金制度を使うことで、就職後に自分で授業料を払うことができます。分からないことも多いと思うので、積極的に聞きに来てください。いつでも相談にのります。



学生サービス課  
酒井 達也さん



医)看護学科  
船本 彩花さん

### 地域で輝く 看護師になりたい

少子高齢化が問題となっている現在、「地域医療」は最も注目されるフィールドの一つです。私は将来、地域の人々が安心して暮らせる環境を医療面からサポートしたいと思っています。人生の門出に、「地域医療」への貢献を強く決意します。



医)看護学科  
月田 佳寿美先生

ご成人おめでとうございます。病気や障がいもちながら地域で生活する人は、これからますます増えていきます。病気の予防や治療の継続、自己管理に関わる看護職としてはばたいてください！



教)学校教育課程  
名用 敏之さん

### いろんな人から 愛される 教師になりたい

教師という仕事は難しく、子どもや保護者から信頼されなくてはなりません。そんな教師になるために大事な知識や技量、子どもを引きつける何かを身につけるべく、より一層努力していき、最終的にはすべての人に愛される教師になりたいです。

全ての子ども達や親から信頼され愛される教師になることは困難ではありますが、その意気込みは素晴らしいと思います。そのための知識や技術の向上は当たり前であり、それ以上に人として誠実であることが求められると思います。



教)学校教育課程  
奥野 信一先生

## ★20歳のキミに贈るコトバ!



工)知能システム工学専攻  
村瀬 一之先生

私が成人式を迎えた頃は、学生が講義をボイコットしていたものです。今では社会問題に関する主張をしていた昔の自分を不思議に思うくらいですよ。みなさんは現在単位を得るために一生懸命頑張っていますが、「学ぶ」とはどういうことなのか、広く関心を持って考えてみてください。



経営戦略課  
清水 史子さん

私の場合、本に例えるなら『何でも見てやろう』(小田実 著)、『二十歳の原点』(高野悦子 著)。悩み多き20歳だったかも。詩人きむさん曰く「夢と目標は違う。夢は目標を達成したときに見える景色」だそうです。みなさんがいい景色を見られることを願っています。

## 学生広報スタッフ募集中!

学生広報スタッフを募集しています。福井大学生なら誰でもOK! 広報誌の編集、ブログの作成に興味のある人、大歓迎です。希望する人は気軽に連絡してください。一緒に楽しく福井大学の魅力を発信して広めていきましょう。



今年も1年よろしくお願ひします(´▽`)

福井大学広報室 Tel/0776-27-9733  
E-mail/sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp

【メールへの明記事項】  
タイトル: 広報スタッフ応募  
内容: 氏名、学部(研究科)学科(専攻)、学年、住所、携帯電話、E-mail、応募動機  
※ご記入いただいた個人情報は学生広報スタッフの活動にのみ使用いたします。

ブログ「うらら@ふくだい」更新中

↓応募はこちらから



確かな目標を持っている人が多いだね。その気持ち忘れずに、ファイト! 僕も新しい夢を探してみようかな



教)地域科学課程  
渡辺 健太郎さん

### 公務員として 地元・金沢に貢献したい

生まれてからずっと支えてきてくれた地元金沢に恩返ししたいです。例えば、福利厚生を充実させて、より住みやすく、より誇れる市にしていきたいです。また、歴史や景観を整備していくことによって、日本全国・世界各国から1人でも多くの観光客が訪れる金沢にしていきたいと思っています。



教)地域科学課程  
前田 一樹さん

公務員になるためには、まず試験を突破する必要があります。試験勉強は大変ですが、仲間と励まし合いながら乗り越えていってください。地元で貢献したいという素晴らしい目標を忘れず、これからも頑張ってください。応援しています!

# 福井大学基金

学生の皆さんへの修学支援のため、  
福井大学基金へ多くのご厚意が寄せられています。  
ご支援に対し、心より御礼申し上げます。

このたび、学生の修学支援を目的として、  
福井大学基金を創設し、平成26年3月より、募金事業を開始いたしました。  
今号では、9月11日から12月14日までの寄附報告及びご寄附くださいました個人・法人・団体様で  
掲載をご了承いただいた方のご芳名(50音順)を掲載させていただきます。  
今後とも福井大学基金へより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

福井大学基金の寄附状況 (平成26年12月14日現在) 寄附申込数 722件(延べ数) / 寄附申込額 5,276万8,370円

## 個人

青木 耕史 様  
青木 正義 様  
青山 庸 様  
青山 傳治 様  
秋山 光智 様  
明地 正純 様  
浅井 正勝 様  
朝倉 俊行 様  
朝倉 真博 様  
葦埜 勲 様  
五十嵐 嘉也 様  
池田 敦 様  
池田 功夫 様  
池田 芳紀 様  
石橋 正人 様  
出雲路 康照 様  
市橋 信孝 様  
伊藤 仁一郎 様  
稲谷 大 様  
今川 義己 様  
今村 善孝 様  
入江 恒爾 様  
岩崎 新 様  
岩永 晃信 様  
上田 恵一 様  
上野 祐広 様  
上野 聡子 様  
浮田 慎太郎 様  
宇野 浩 様

宇野 良二 様  
江藤 清隆 様  
大石 恭輔 様  
大垣 内多徳 様  
大下 邦幸 様  
大竹 浩 様  
大原 幸代 様  
大森 正男 様  
岡沢 秀彦 様  
小笠原 良一 様  
奥居 稠朗 様  
尾崎 隆淳 様  
長田 淳 様  
小谷 哲治 様  
開発 毅 様  
影山 恵一 様  
数馬 良一 様  
片山 加奈子 様  
片山 元 様  
加藤 一二 様  
加藤 夕 様  
門坂 守 様  
木瀬 雅博 様  
北島 恬 様  
北島 弘一 様  
北林 美津子 様  
北村 真一 様  
城戸 利枝 様  
木村 温美 様

久保田 紀彦 様  
窪田 真由美 様  
熊谷 敬一 様  
倉田 直季 様  
黒田 保彦 様  
下司 徹 様  
児嶋 眞平 様  
小西 俊和 様  
小西 慶幸 様  
小林 淳一 様  
小林 零 様  
小藤 幸男 様  
古村 義彰 様  
小森 富夫 様  
斎藤 聰 様  
齋藤 剛彦 様  
齋藤 等 様  
坂本 安夫 様  
坂本 新太郎 様  
佐々木 輝明 様  
佐野 和生 様  
嶋崎 公英 様  
清水 嗣能 様  
清水 正一 様  
末 信一郎 様  
須賀原 和広 様  
杉本 裕之 様  
鈴木 浩史 様  
鈴木 真寿美 様  
須藤 正克 様

諏訪 泰重 様  
田岡 久雄 様  
高嶋 涉 様  
高村 佳弘 様  
田川 健吾 様  
竹内 正紀 様  
武本 一美 様  
田嶋 陸 様  
段野 弘人 様  
塚本 充 様  
椿山 教治 様  
出口 隆弘 様  
土居 守 様  
東浦 正規 様  
道鎮 大修 様  
登谷 直弘 様  
鳥居 秀美 様  
中島 裕美 様  
長田 裕幸 様  
中根 久 様  
中村 清 様  
中山 浩光 様  
成實 明夫 様  
西出 俊亮 様  
根来 英雄 様  
野口 つぎ代 様  
野尻 章博 様  
野尻 郁智 様  
白鳥 彩子 様

橋本 由美子 様  
橋脇 典子 様  
長谷 博行 様  
林 勝義 様  
林 重充 様  
林 正岳 様  
林 真理子 様  
早津 恵子 様  
平田 好祐 様  
平野 洋一 様  
廣田 龍彰 様  
広野 きみ子 様  
深町 紗津記 様  
藤井 一男 様  
藤井 健夫 様  
藤枝 宏壽 様  
藤本 潤一 様  
藤原 哲也 様  
二ツ矢 祥久 様  
古橋 一憲 様  
細江 憲 様  
堀 照夫 様  
堀内 康代 様  
堀江 和澄 様  
堀田 紀好 様  
前川 小百合 様  
前田 征利 様  
牧野 嘉世 様  
松井 富美恵 様  
松浦 多喜子 様

松澤 基三郎 様  
松田 慎平 様  
松永 紀輝 様  
松本 光文 様  
水島 春男 様  
宮崎 茂久 様  
宮澤 晴久 様  
宮本 薫 様  
村上 真 様  
村中 洋祐 様  
元根 衆三郎 様  
森川 重彦 様  
安井 梨恵 様  
矢野 義貴 様  
山口 大輔 様  
山口 雄司 様  
山下 恵代 様  
山本 勝 様  
横山 強志 様  
岡 正巳 様  
吉田 喜代則 様  
吉田 幸二 様  
吉武 哲夫 様  
米澤 晋 様  
米澤 洋美 様  
渡辺 和男 様  
渡邊 義信 様  
ほか 匿名希望の方18名

福井 鉄工株式会社 様  
清川メッキ工業株式会社 様  
小林化工株式会社 様  
斉藤設備機工株式会社 様  
大電産業株式会社 様  
竹原運輸株式会社 様  
東工シャッター株式会社 様  
平野純薬株式会社 様  
福井県農業協同組合中央会 様  
福井県民生活協同組合 様  
福井大学生活協同組合 様  
福井経編興業株式会社 様



新米リビングで開かれたワークショップ



イベントでにぎわう新米テラス

## Topics \* 1

### まちなかの賑わい創出を目指して 福井市新米商店街で秋の企画

工学研究科建築建設工学専攻の原田陽子准教授の研究室では、空き店舗などが多くある新米商店街周辺を対象に、福井市と共同で低利用地活用プロジェクトを推進しています。駐車場活用広場「新米テラス」、空き店舗活用サロン「新米リビング」を期間限定で設け、福井市のまちなかの賑わい創出の可能性を探る活動です。

昨年10月23日から11月3日までは「秋の企画」として、「新米テラス」を再び開き、10月28日には、研究室が企画した「建築家出水建太さんによるレクチャー+新米を活かす・つなぐワークショップ」を開催。その中で、商店街の店主の方と賑わいを取

り戻すためのアイデアを出し合いました。また、新米テラスを利用して多くの市民や団体が、やきいもパーティー、屋外映画鑑賞会、夜間イルミネーションなど多彩な企画を催し、多くの人で賑わいました。

このプロジェクトに関わる博士前期課程1年の小林泰隆さんは、「空き店舗や空き地は、魅力的な活用モデルを示すことによって、使いたいと考える人が出てくると思います。活用されると、人の流れを生み出すことができます。そのような場をつくるきっかけを生み出していきたいと思っています」とプロジェクトについて話しています。

## \* TOPICS INFORMATION \*

## Topics \* 2

### ディズニールランドから学ぶ 講演会「みんなが笑顔になれる習慣」

1月30日、接客向上委員会&People代表の石坂秀己さんを招き、学生企画講演会「ディズニールランドが教えてくれた みんなが笑顔になれる習慣」を開催しました。

石坂さんは、東京ディズニールゾーを運営する株式会社オリエンタルランドで、アトラクションの責任者として長年勤務。研修インストラクターも兼任し、キャストの接客研修の基礎を築き上げてきました。

松岡キャンパスの講演会実行委員代表 大谷昂さんは、「笑顔で仕事ができ



講演会のポスター

きる、人を笑顔にできるということは将来において大切なスキル。多くの方に参加してほしいです」と呼びかけています。

## Topics \* 3

### 幅広い業種の情報を効率的に収集！ 学内合同企業説明会に参加しよう

3月13日から18日の6日間、総合研究棟13階の大会議室で、学内合同企業説明会を開催します。

現在の学部3年生、修士1年生から、就職活動の解禁日は、従来の12月から3月に後ろ倒しになりました。限られた時間の中でも、効率的に多くの企業に触れる機会が持てるように、今回から、開催期間を4日から6日に、参加企業数を320社から360社へと増やしています。福井大学生を採用したい企業や官庁が集まる、北陸最大規模の合同企業説明会です。このチャンスを活用下さい。



昨年の学内合同企業説明会の様子

福井大学基金の詳細については、  
福井大学HPをご覧ください。  
<http://www.u-fukui.ac.jp/kikin/>

福井大学基金についてのお問い合わせ先  
福井大学基金事務局 〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9-1  
TEL 0776-27-9903(ダイヤルイン) FAX 0776-27-8518 E-mail kikin@ad.u-fukui.ac.jp

学生生活応援！

学務部からのお知らせ

## 「留学OASIS」を活用して 海外へトビタテ！

文京キャンパス・学生会館1Fの一角（国際課前）に、留学情報を入力できるスペース「留学OASIS」があることをご存じですか？

留学OASISには、目を引く大きな世界地図が設置されているほか、留学情報掲示板、学術交流協定校のパンフレット、別留学情報、短期海外研修プログラム情報、留学のための奨学金情報など、各種の情報が得られるようになっています。

留学を成功させるためには、長期的な準備が必要です。留学の目的によって、渡航先、留学期間、渡航時期、ビザの種類、休学の有無が変わってきますので、自分にあった留学タイプを知るためにも留学OASISで情報収集をしましょう。

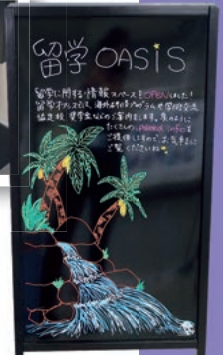
また、国際課で常時受け付けている留学個別相談もこちらで実施しています。留学に興味を持ち始めたばかりの方から、渡航先を決めている方まで、それぞれの希望にあった留学ができるよう、アドバイザーや資料の提供を行っています。留学相談を希望される方は、国際課に気軽にお問い合わせください。

その他、ご自由にお持ち帰りいただける海外留学ロードマップやパスポート申請書類、タッチパネル式の情報スクリーンなどもありますので、留学OASISを活用し、留学しましょう！



■ 国際課 0776-27-8404

留学情報は、福井大学 国際交流・留学HP (<http://global.ad.u-fukui.ac.jp/>) でも紹介しています。

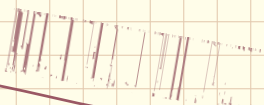


## 編集後記

今号の特集では、福大生6名の「卒業論文」にスポットを当ててご紹介しましたが、いかがでしたか？研究を進める中で、指導してくれる先生や先輩など、様々な人の温かい協力があったと思います。ひつじ年にちなみ、ウールのように温かい人間関係を築くというも、充実した大学生活を送る上で大切かもしれませんね。

受け取るよりも多く、相手に与えること。  
幸福になる唯一の道である。

アルフレッド・アドラー



## 本冊子の感想を教えてください

広報誌「ふくだいプレス20号」を読んだ皆さんの感想を教えてください。アンケートに回答いただいた方の中から抽選で「マカロンデザインクリップ」を10名様にプレゼント！



(実物とは異なる場合があります)

### 【応募方法】

QRコードもしくはURLからご応募ください。  
応募締め切り：3月13日（金）  
<http://www.u-fukui.ac.jp/m/>



## みなさまからのご応募、お待ちしております！

ご記入いただいた個人情報は、プレゼントの送付、及びお問い合わせ・ご意見をいただいた際のご連絡に使用させていただきます。

## ふくだいプレス 第20号

発行日／平成27年1月 発行者／福井大学広報センター  
TEL：0776-27-9733 E-mail：sskoho-k@ad.u-fukui.ac.jp